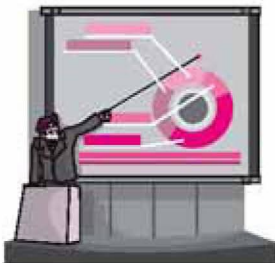


随感 地球环境正值危机之时

去年10月28日,气象厅发表了对过去一百年来日本、美国等国家的气象数据所作的分析,以及对今后气象进行预测的《异常气象报告2005》。这份报告的分析指出,由于地球变暖引起的海水热膨胀等变异,整个地球的海水水面在这一百年的时间里,上升了10至20厘米,报告同时作出预测,在今后一百年中,地球海水水面还将上升15至16厘米。▼12月16日,WWF(世界自然基金会)公布了有关地球变暖的最新研究结果,并预测到2026年,地球表面的平均气温将比工业革命前高出2摄氏度;同时发出了北极地区气温的上升率,是其它地域的三倍的警告。另外,同基金会的气象问题负责人还指出“我们已经观察到了北极有将要发生巨大变异的征兆。山岳冰川变得越来越小、积雪已融化、格陵兰岛的冰盖越来越薄。这一切变化都在向我们显示:事情已经到了刻不容缓的地步。”



▼从11月28日到12月10日在加拿大·蒙特里亚召开的气候变动框架条约第11届缔约国会议,尽管遭到美国态度顽固的反对和俄国横空提议的摆弄,但大会还是表决、通过了联通今后继续商议、探讨环境问题之路的《蒙特里亚行动计划》。▼但是,阻止地球变暖的、实际而有效的办法和方案,依然没有摸索出来。担心给本国经济带来损害的美国,依然拒绝批准规定先进国家削减温室气体排放量及实施期限的《京都议定书》。在这次会议上,美国最终之所以作出让步的姿态,仅仅是因为在《蒙特里亚行

随感 今や地球環境は危機的段階

気象庁は昨年10月28日、過去100年分の日本、米国などの気象データを解析し、今後の気候を予測した「異常気象レポート2005」を発表しました。この中で、温暖化による海水の熱膨張などで、地球全体の海面水位がこの100年間で10～20センチ上昇したと分析し、今後100年でさらに15～16センチ上昇すると予測しました。▼WWF(世界自然保護基金)は12月16日、地球温暖化に関する最新の研究報告で、地球の平均気温が2026年頃までに産業革命前に比べて2℃高くなるとの見通しを示すとともに、北極地方の気温上昇率は、他の地域の3倍になると警告しました。また、同基金の気候問題担当者は、「すでに北極で大きな変動の兆候を確認している。山岳氷河は小さくなり、積雪は消え、グリーンランドの氷床は薄くなっている。このような変化はすべて、我々にはもう一刻の猶予もないことを示している」と述べています。▼11月28日から12月10日まで、カナダのモントリオールで開催された気候変動枠組み条約第11回締約国会議は、米国のかたくなな態度やロシアの突然の提案に翻弄されながらも、今後の話し合い継続に道をつなぐ「モントリオール行動計画」を採択しました。▼しかしながら、実効ある地球温暖化防止策への道筋はまだ不透明なままです。経済への悪影響を懸念する米国は、先進国に温室効果ガスの排出削減量と

動計画》中，載有“對話的結果并非为谋求設定其它義務的途徑”這一句話而已。



▼另一方面，与美国政府的这种举措相反，美国国内对于地球变暖的认识正在发生着变化。12月9日下午，美国前总统克林顿在会场举行演说，指出“我一直是支持京都议定书的。…全美有超过190个城市的市长制定出了符合京都议定书精神的目标，并致力于（排放量的）削减工作。地方政府做得到的事，为什么国家却做不到呢？”▼而我们呢，今后除了密切关注日本政府在刻不容缓的、地球变暖这一问题上所作的努力及世界各国的动向以外，是不是也应该从我们身边的一件件小事做起，为阻止地球变暖而真正行动起来呢？（K）



じっしきげん か きょうとぎていしょ ひじゅん い
 実施期限を課す「京都議定書」の批准を依
 ぜん きよひ こんかい さいしゅう
 然として拒否しており、今回の会議で最終
 てき あゆ よ
 的に米国が歩み寄ったのは、「モンテリオール
 たいわ けっか あら ぎ む
 行動計画」に「對話の結果は新たな義務への
 こうしゅう いちぶん
 交渉につなげるものではない」という一文
 はい み
 が入ったためとも見られています。▼一方、
 いっぽう
 こうした米国政府の対応とは裏腹に、米国内
 せいみ たいおう うらはら ない
 でも地球温暖化に対する意識が変わりつつあ
 たい いしき か
 ります。12月9日午後、クリントン前大統
 ここのかごご くりんとんぜんだいてう
 りょう かいぎじょう わだし しじ
 領は会議場で「私は京都議定書を支持し
 ぜんべい こえ しちょう
 てきた。…全米で190を超える市長が
 そ かなち もくひょう さだ
 京都議定書に沿った形の目標を定め、削減
 とく じちたい
 に取り組んでいる。なぜ自治体にできること
 くに でき えんぜつ おこな
 が、国には出来ないのか」との演説を行っ
 わたしたち
 ています。▼私達は、一刻も猶予のならない
 にほんこく
 地球温暖化問題に対する日本国政府の取り組
 せいかいこく どうこう ちゅうし
 みや世界各国の動向を、今後とも注視して
 じしん みぢか
 いくとともに、私達自身が身近でできる温暖
 ひと じっこう うつ
 化防止策を一つ一つ実行に移していくこと
 いま ちと
 が今こそ求められているのではないでしょ
 うか。（K）

